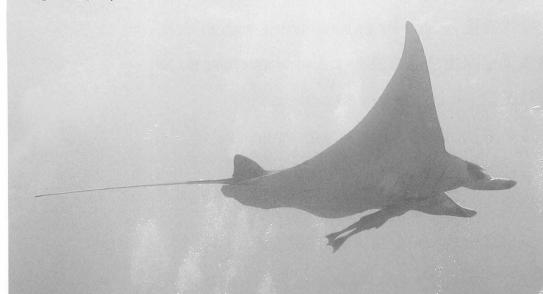
もっと知りたい・・Since 1973



株式会社 日本海洋生物研究所 (03)3787-2471 MARINE BIOLOGICAL RESEARCH INSTITUTE OF JAPAN CO., LTD. http://www.mbrij.co.jp



海産微細藻類用培地

<特徴>

- ◎ 多彩な微細藻類に使用できる。
- ◎ 手軽に使用できるので、時間と労力の節約。
- ◎ 安定した性能。
- ◎ 高い増殖。
- ◎ 精製水に溶かすだけで、手軽に使用できる。

IMK 培地

は、多種多様な微細藻 類に使用可能な培地です。人 工海水 SP は、海水の成分が自 然に近い形で混合されており、 精製水に溶かすだけで使 用できます。

ダイゴ IMK 培地

100 L 用× 10 398-01333 1000 L 用× 1 392-01331

微細藻類に共通して使える培地です。 生育に必要な成分が含まれています。

ダイゴ人工海水 SP

1 L用×10

395-01343

海水 SP の成分が自然に近い形で混合されています。

お客様のご要望に応じた培地も特注でお受け致します。

製造 日本製薬株式会社 ライフテック部 大阪府泉佐野市住吉町26番 〒598-8558 TEL 072-469-4622

URL http://www.nihon-pharm.co.jp/lifetech/

販売 和光純薬工業株式会社

大阪市中央区道修町三丁目1番2号 〒541-0045 TEL 06-6203-3741 東京都中央区日本橋四丁目5番13号 〒103-0023 TEL 03-3270-8571

電子顕微鏡本体と高感度デジタル*カメラの一体化により、快適な操作環境を提供。

*感度:対写真フィルム比・約40倍、対AMT社製HRカメラ比・約10倍

特長

- ❸ 日立独自の複合対物レンズにより、低倍・広視野・高コントラスト な観察が可能
- 高感度デジタルカメラによるロードース観察を実現
- 本体と一体化制御されたデジタルカメラによる良好な操作性
- オートフォーカス・オートスティグマなどの自動化機能を搭載
- ☞ データベース機能、測長機能、各種画像フィルターによる画像改善などの豊富な機能を搭載

日立電子顕微鏡

H-7650

株式会社日立ハイテクノロジーズ

本 社 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号 電話 ダイヤルイン(03)3504-6111 インターネットでも製品紹介しております。以下のURLへアクセスしてください。

UR http://www.hitachi-hitec.com/em/

北海道(札幌) (011) 707-3200 東 北(仙台) (022) 264-2218 筑 波(土浦) (029) 825-4811 中 部(名古屋) (052) 219-1670 関 西(大阪) (06) 4807-2552

四 国(高松) (087) 825-9977 中 国(広島) (082) 221-4514 九 州(福岡) (092) 721-3517 沖 縄 (098) 863-8295



ISEBU Service Station

お客様の多様な印刷・出版ニーズに迅速で きめ細かいサービスを提供する営業 センター

〒305-0005 茨城県つくば市天久保2-11-20 Tel.029-851-2515 Fax.029-852-8501 ss@isebu.co.jp 営業時間:9:00~17:30



ISEBU Printing Station

最新鋭のデジタルワークフローでデザイン・ 編集から印刷、製本までの一貫生産を行う 印刷工場

〒305-0812 茨城県つくば市東平塚389 Tel.029-856-4166 Fax.029-856-4147 ps@isebu.co.jp 営業時間:9:00~17:30



ISEBU Digital Station

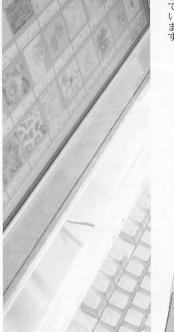
「必要なときに必要な部数だけ」印刷する オンデマンド印刷をはじめ、Web制作、 CD-R、電子出版など、マルチメディア 対応型のアンテナショップ

〒305-0003 茨城県つくば市桜2丁目53-3 Tel.029-850-6200 Fax.029-850-6601 ds@isebu.co.jp 営業時間:10:00~19:00



Digital

私たちイセブは、筑波研究学園都市を中心とする 地域で培ったお客様との信頼関係を礎に、お客様 とのだりに最適な印刷ソリューションのご提案を がざしています。高品位な学術書・論文集等にすぐれ がざしています。高品位な学術書・論文集等にすぐれ とデジタルデータをCTPシステムでダイレクトに たデジタルデータをCTPシステムでダイレクトに たデジタルデータをCTPシステムでダイレクトに たデジタルデータをCTPシステムでダイレクトに たデジタルデータをCTPシステムでダイレクトに たデジタルデータをCTPシステムでダイレクトに たデジタルデータをCTPシステムでダイレクトに たデジタルデータをCTPシステムでダイレクトに たがいるで、印刷・製本工程とあわせて迅速 な生産体制を確立し、高品質の印刷物をスピーディ な生産体制を確立し、高品質の印刷物をスピーディ な生産体制を確立し、高品質の印刷物をスピーディ な生産体制を確立し、高品質の印刷物をスピーディ





最新鋭の設備が約束する

確かな印刷技術革新

プロプレスをプレス・ロークフロ



roducts

■ 優れた瞬発力でお応えします多様化する印刷・出版ニーズに

▶海藻を食べ尽くし、各地で磯焼けを起こしているウニ。藻場回復への取り組みや対策、ウニの生 態・漁獲・利用法を解説。

2 -ズ

藤田大介・町口裕二・桑原久実 編著 A5判 312頁 定価4620円(〒390)

生態・利用・除去 0 よる藻場回復

ウニという植食動物/第2章 国内のウニ焼けの現状/第3章 各地のウニ焼け/第4章 ウニの行動・摂餌生態と食害対策/第5章 ウニの ウニの漁獲から流通まで/第7章 獲ったウニを肥育する/第8章 ウニを利用する/第9章 除去と新たな試み/第6章 これから何を考えるべきか



水産庁緊急磯焼け対策モデル事業の成果をもとに、磯焼けの一因ともなっている 植食性魚類の生態、 漁獲、利用、 藻場の保護法などを解説。

藤田大介·野田幹雄·桑原久実 編著 A5判 288頁 定価3990円(〒390)

生態から

第1章 植食性魚類とは/第2章 2005年の全国アンケート調査から/第3章 魚による各地の藻場衰退の現状/第4章 植食性 魚類の生態を探る/第5章 植食性魚類を獲る/第6章 植食性魚類を食べる/第7章 魚の磯焼けは回復するか/



▶海藻のネバネバ成分のひとつであるフコイダンの理化学的性状と様々な薬理効果等を解説する。

山田信夫 著 A5判 196頁 定価3150円(〒390)

1編 海藻フコイダンとは

海藻の炭水化物と多糖類 フコイダンの理化学的性状

1章 古典などにみる海藻の薬理効果 4章 フコイダンに働く細菌と酵 素ならびに酵素の働きを阻 害するフコイダン

2編 フコイダンの薬理効果

1章 2章 3章 4章

抗血液凝固作用 抗がん作用 コレステロールならびに血圧低下作用 抗ウイルス作用

抗アレルギー作用 不定愁訴治療効果 ビロリ菌定着阻害作用 フコイダンと化粧品 フコイダンの安全性 5章章章章 7章章章章



ひじき/第6章 もずく/第7章第1章 海藻の有効成分/第2章

剛

著/四六判 寒海

漁業再生へ

医療・美容・飼料・肥料・工業製品など多方面に利用される海藻の現状

出

信夫

著

容面への利用/11章 海藻の毒の大いでは、12章 海藻の肥料・飼料への利用/11章 海藻のと埋活性物質の章 海藻の肥料・飼料への利用/11章 海藻の炭水化物と多糖類/6章 海藻の食物繊維/7章 海タンパク質と脂質/5章 海藻の炭水化物と多糖類/6章 海藻の食物繊維/7章 海 吸分とビタミン/8章 海藻の生理活性物質9章 海藻の肥料・飼料への利用/10章 海藻の美マンバク質と脂質/5章 海藻の炭水化物と多糖類/6章 海藻の食物繊維/7章 海藻の無機・章 海草と海藻/2章 世界の海藻資源とその利用/3章 海藻の一般化学成分/4章 海藻の A 5 判 284頁 定価3990円(〒390)

成山堂書店

定価1680円(〒340)

著

生と繁殖

海苔という生き物

四六判 192頁

6章 海苔の栽培技術とノリの生物学/7章 沿岸環境とノリの生育4章 ノリの進化を考える/5章 海苔の栽培技術とバイオテクノロジー1章 ノリの名前と生える場所/2章 ノリの形と種類/3章 ノリの一

ルソーブックスロー2

海苔に関する基礎事項

から栽培・バイテクまで、

人間との

深い関

わり

、ルソーブックスロー

統料理―/8章 海藻は健康にいい―その効用と栄養― 3章 伝統的な海藻の食文化/4章 コンプ、ワカメ、ヒジキ、モズノリー淡水産の藻の利用・歴史・伝緑藻類の歴史と伝統料理―/7章 カワノリ、スイゼンジノリ―淡水産の藻の利用・歴史・伝統料理―/8章 不然的な海藻の食文化/4章 コンプ、ワカメ、ヒジキ、モズクー褐藻類の歴史と伝統料理―/8章 食用海藻の種類と移り変わり

四六判 204頁 定価ー680円(〒340)ノートルダム清心女子大学教授 今田 節子 著

古来からの海藻食文化を見直すことから、 新しい利用法の発見がある!

東京海洋大学教授 能登谷正浩 編著/A5判 164頁 定価2730円(〒390)

海藻利用の基礎研究 シリーズ応用藻類学の発展1 21世紀は藻類の時代、 海藻研究の大いなる可能性を紹介! ī - その課題

東京海洋大学教授 能登谷正浩 編著/A5判 288頁 定価4200円(〒390) шшІ 造成技術と管理手法 その理論(生殖細胞と種苗、藻場環境と遷移、造成技術と繁殖モデル生態的特性と応用)ホンダワラ類、コンブ類、小型藻類(生活史 生殖細胞 発芽体の特性)ホンダワラ類、コンブ類、アラメ・カジメ類

0 の海藻と 第一 境に適した造成技術を提唱 **し造成技術**

海藻の栄養学 最近話題となる成人病予防・美容効果なども取り上げ、必読!海苔、若布、昆布など身近な海藻の生産から栄養・機能成分を紹介。

天/第8章 168頁 海藻類に含まれている微量元素若 布/第4章 昆 布/第5貝 定価ー680円(〒340 健康の素 (F340

*定価,発送費(〒)は消費税込み。

**產関係図書出版 成山堂書店

〒160-0012 東京都新宿区南元町4-51 成山堂ビル TEL03(3357)5861 · FAX03(3357)5867 http://www.seizando.co.jp E-mail:order@seizando.co.jp

「水産図書案内」「各内容見本」 無料進呈

新 刊

Encyclopedia, Genera of Freshwater Algae

淡水產藻類属総

山岸 高旺 著 B5 判上製・総頁 1444 頁・定価 52,500 円 (本体 50,000 円)

本書は淡水における藻類、約 1500 属を収録した淡水藻類の属の総覧である. 配列は淡水藻類を 12 分類群に分ける Bourrelly の分類系を採った。これに加え異名とされるもの、関連するものをさらに約800属所収する。60年に及ぶ著者 の淡水藻研究の集大成として,淡水藻類の全体像に迫る大著である.

本文は、それぞれの分類群の「細胞・藻体」「生殖・生活史」「分類・分類表」を示した後、それぞれの属の記載が中心とな り、線画による基本的な図版を示しながら、属の分類基準とされる形態形質、生殖形質、生育状況を述べる。また類似属と の関係や産状など特記事項も詳細に記す、学名総索引をはじめ、和文、欧文の事項索引、また属名のカナ読み索引を付した。

はじめに/凡例/淡水藻類 序 (01) 藍藻類 Cyanophyceae (01付) 灰青藻類 Glaucophyceae (02) 紅藻類 Rhodophyceae (03) 黄色鞭毛藻類 Chrysophyceae (04) 黄緑色藻類 Xanthophyceae (05) 珪藻類 Bacillariophyceae (06) 褐色鞭毛藻類 Cryptophyceae (07) 渦鞭毛藻類 Dinophyceae (08) 緑色鞭毛藻類 Chloromonadophyceae (09) 褐藻類 Phaeophyceae (10) 緑虫藻類 Euglenophyceae (11) 緑藻類 Chlorophyceae (12) 車軸藻類 Charophyceae 学名総索引/属名カナ読み索 引/和文事項索引/欧文事項索引

小林 弘 珪藻図鑑

H.Kobayasi's Atlas of Japanese Diatoms based on electron microscopy

出井雅彦・真山茂樹 南雲 保・長田敬五

B5 判上製・総頁 596 頁・定価 35,700 円

本書は、珪藻の分類学の成書として長く刊行が待たれていた待望の書であり、斯界の第一人者、故小林弘博士の名を冠する ものである.プレートとその解説をはじめとし,特殊な用語が多く使われる珪藻の殻構造の解説を電顕写真や線画を添えて 分かりやすく示した。分類体系には最新の研究成果を盛り込む、用語の英語、日本語、ラテン語の一覧表や、学名と和名の 対照表などを付し読者の便宜を図った.

【内容主目】凡例/新分類群・新組み合わせ・新用語/収録分類群一覧/珪藻の殻構造と用語/珪藻用語対照 表/珪藻分類体系/和文解説/欧文解説と図版/属の学名 - 和名対照表/引用文献/学名索引

群集解析に基づく汚濁指数 DAlpo. pH 耐性能

浅井一視・大塚泰介 著 辻 彰洋・伯者晶子 渡辺 仁治 編著 B5 判上製・総頁 784 頁・定価 34,650 円

日本のみならず世界各地から約1500のサンプルを採集、膨大なサンプルの生態情報を処理検討し、約1000種の珪藻につ いてその結果を分かり易くまとめる。生態情報の妥当性を期するため、すべてのサンプルを統一条件下で採集し、好清水か 好汚濁か=きれいな水を好むのか,汚れた水を好むのか等を判断する環境指標としての珪藻群集の適性を,多くの図版で具 体的に示す。

総論 珪藻研究の歴史/環境指標としての珪藻群集/湖沼,河川共通の水質汚濁指数 DAlpo /珪藻の生活様式/試料の採集/試料の処理と検 鏡/形態(種の同定に関わる特性要素) 写真編 I 中心目 (Centrales) の分類 II 羽状目 (Pennales) の分類 II A 無縦溝 亜目 (Araphidineae) の分類 II A ディアトマ科 (Diatomaceae) II B 有縦溝亜目 (Raphidineae) の分類 II B₁ ユーノ チア科 (Eunotiaceae) II B2 アクナンテス科 (Achnanthaceae) II B3 ナビクラ科 (Naviculaceae) II B4 エピテミア科 (Epithemiaceae) II B₄ ニチア科 (Nitzschiaceae) II B₅ スリレラ科 (Surirellaceae) 学名総索引 事項索引

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので,学会事務局(庶務)までお申し込み下さい(価格は送料を含む)。

1. 「藻類」バックナンバー

各号, 会員価格 1,750 円, 非会員価格 3,000 円; 30 巻 4 号 (創立 30 周年記念増大号, 1–30 巻索引付き) のみ会員価格 5,000 円, 非会員価格 7,000 円; 欠号 1–2 巻全号, 4 巻 1, 3 号, 5 巻 1, 2 号, 6–9 巻全号。

2. 「藻類」索引

1-10 巻,会員価格 1,500 円,非会員価格 2,000 円; 11-20 巻,会員価格 2,000 円,非会員価格 3,000 円; 1-30 巻(創立 30 周年記念),会員価格 3,000 円,非会員価格 4,000 円。

3. 山田幸男先生追悼号

藻類 25 巻増補, 1977, A5 判, xxviii + 418 頁。山田先生の遺影, 経歴, 業績一覧, 追悼及び国内外の藻類学者より寄稿された論文 50 篇(英文 26 篇, 和文 24 篇) を掲載。価格 7,000 円。

4. 日米科学セミナー記録

Contributions to the systematics of benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編, 1972, B5 判, xiv + 280 頁, 6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で, 20 篇の研究報告(英文)を掲載。価格 4,000 円。

5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究

1977, B5 判, 65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

6. Proceedings of Algae 2002

藻類 52 巻特別号,2004,A4 変形判,253 頁。平成 14 年 7 月につくばで開催された第 26 回日本藻類学会大会・日本藻 類学会 50 周年記念行事・第 3 回アジア太平洋藻類学フォーラム合同会議(Algae 2002)のプロシーディング集。43 篇 の論文・レビューを掲載。価格 3,500 円(送料込み)。

2008年 3月 5日印刷

2008年 3月10日発行

© 2008 Japanese Society of Phycology

日本藻類学会

禁 転 載不許複製

印刷所

編集兼発行者

株式会社イセブ

Tel 029-853-8975 Fax 029-853-8401

北山太樹

〒 305-0005 つくば市天久保 2-11-20

〒 305-0005 つくば市天久保 4-1-1

E-mail kitayama@kahaku.go.jp

国立科学博物館植物研究部

Tel 029-851-2515

Fax 029-852-8501

日本藻類学会

発 行 所

〒 657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

神戸大学内海域環境教育研究センター

Tel & Fax 078-803-5781

Printed by Isebu Inc.

藻類



The Japanese Journal of Phycology (Sôrui)

第56巻 第1号 2008年3月10日

目 次

藻のグラフィックアート	日本のイシゴロモ属	(解説:馬場将輔)
-------------	-----------	-----------

吉田吾郎・八谷光介・寺脇利信 天然および水槽培養下における褐藻ホンダワラの成長様式 · · · · · · · · 1
阿部信一郎・井口恵一朗・米沢俊彦・四宮明彦 奄美大島のリュウキュウアユ(<i>Plecoglossus altivelis ryukyuensis</i>)生息河川における付着藻類植生および一次生産力 ・・・・・・・・・・・・・ 9
短報 寺田竜太・吉田忠生・新井章吾・村瀬 昇 スギモク Coccophora langsdorfii (Turner) Greville (褐藻綱
ヒバマタ目)の分布と基準産地:特に周防灘における分布と南限群落について ・・・・・・・・ 17
藻場の景観模式図
寺脇利信・新井章吾 :26. 新潟県柏崎市のマリーナ防波堤 ・・・・・・・・・・・・ 22
藻類学最前線 西井一郎 : ボルボックスの分子生物学 一最近の進展 - ・・・・・・・・・・・・・・・25
新村 巌・田中敏博: 鹿児島県の有用藻類 II. 褐藻綱 ・・・・・・・・・・・・・29
民俗藻類学の旅
濱田 仁:お祓いの起源ホンダワラ類と出雲の佐太神社 ・・・・・・・・・・・・・・35
博物館と藻類
崎山直夫:水族館の水生植物展示 一新江ノ島水族館の場合一 ・・・・・・・・・・・・・・ 39
山岸隆博: 2007 年度「藻類談話会」に参加して ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
岡崎惠視 : 古谷庫造先生のご逝去を悼む ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
英文誌(Phycological Research)55 巻 3 号掲載論文和文要旨 · · · · · · · · · · · · · · · · · 42
書評・新刊紹介
野崎久義 :淡水藻類 淡水産藻類属総覧(山岸高旺 著) ・・・・・・・・・・・・・・・ 44
編集部:北海道ネーチャーマガジン モーリー 17号(北海道新聞野生生物基金編)・・・・・・45
学会録事 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
学会・シンポジウム情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47
会員 <mark>異</mark> 動 他 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
会員のページ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・54
コラム [藻の見遊山] 渡邊眞之 :クンショウモ・デザイン展 一微小藻が誘う美の世界一 ・・・・・・・45
[遊藻子]編集部:広辞苑のミル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
日本落類学会第 22 回十会(東京 2008)プログラル